

## 議事録（要旨）

委員：施設のことではなにか、子どもたちから意見はありますか。以前、すべり台等の外の遊具の意見がありましたが、それはもう、ある程度決まった範囲があるのでしょうか。

市：予算のこともありますが、あとはやっぱり、遊具も安全に使えるもの、何でもかんでもいいというわけではなく、安全に使えるしかも、どんなお子さんでも楽しめる配慮のある遊具が必要。予算の状況等全体の状況が許せば検討したいと思います。今の状況としては遊具もですが、どこの施設でも建物がかなり年数を重ねてきているのでどちらかという安全に使えるようにということに気を付けて対応していく必要があり、優先順位はどちらかというそちらにある。また、今後もできる範囲で工夫をしながら、状況を見ながら実施していきたい。

委員：館の職員への「遊びの研修」というのは市や県で企画されているのか。

市：特定した1つの遊びの研修はなく、全体的なものは実施している。新しい遊びの習得については市内の他の館と情報共有をしたり、インターネットで調べて子どもたちに教えている。

委員：中高生が大変たくさん来ているということですが、どんなことをして遊ぶんだろうと思ったら、手伝いをされたり、自由研究、勉強をしたりとかいろんなことをしたりとかで、18歳未満が使えるところですのでそういうのが増えてきたのは良いなと思いますね。そういう子どもさんたちは以前来ていた子たちもいるし、お友達と一緒にということですが、そういうことに関してはどうですか。

市：小学生のときに利用していた子たち。子どもたちはいろんな話をしてくれる。下の子どもたちと遊んでくれたり、豆まきの行事の際も鬼になってくれたりと、小学生、乳幼児と一緒に遊んでいる。

委員：今の保護者さんはスマホを活用して情報収集をされる方が多いと思うが、スマホでの発信はしているのか。

市：今、市役所のHP 自体が(児童館は)「子育て・教育」というカテゴリーに分けられており、そこに児童館だったり、小学校の情報をグルーピングして発信してる。あと、佐賀市の公式 LINE があり、お友達登録されていて子育て情報が取りたいという登録をされていたら、その分野の新着がのったときに届くようにという仕組みにはなっている。ただ、仕組みがあるとはいっても、その情報をわかりやすく伝えていく工夫はしなければいけないと思うので、館の方と連絡取合いながら、うまく使って発信していけたらいいと思う。去年もおっしゃってくださったので、やっぱり知ってもらっているのは大事だと思いますし、なんかあった時にあそこに行けばいいんだなと思ってもらえるのが一番いいかなと思う。本当に情報発信というのは気を付けて力を入れていかなければいけない。